

若手人材の実践的トレーニングプログラム

新興国デザイン思考マラソン

(インド&ベトナム編)

- 申込書 -

お申し込み年月日： _____

お申し込み企業名： _____

ご参加者様氏名： <氏名> _____ (男性 / 女性) <部署名> _____

 ←個人印 or サイン
でも結構です。

ご連絡電話番号： _____

ご連絡e-mail アドレス： _____

緊急時連絡先ご担当者様： <氏名> _____ <部署名> _____

_____ <電話番号> _____ <e-mail> _____

■ 日程

2020年5月～2020年11月

■ 実施内容

1. 次代の新興国市場を担うインド&ベトナムの若者との ディスカッション&フィールドワーク&ホームステイ

<事前準備>

- ・インド&ベトナムの現地若者最新動向のプレゼンテーション
- ・新興国デザイン思考マラソンプログラム詳細の確認
- ・WSテーマ、進行方法、事前課題テーマ、現地フィールドワーク進行方法等の決定
- ・プレゼンテーションに関するアドバイス

<現地若者とのWS & 現地フィールドワーク & ホームステイ>

- ・トレンドスポット視察
- ・現地若者との食事会
- ・インド&ベトナムにおける現地若者とのワークショップ
- ・ホームステイ (1泊)
- ※ 弊社より日本人スタッフ1名が同行 (但しホームステイ時は除く) します。

2. 現地体験で得た知見の展開 & 共有の為の情報解読

- ・インド&ベトナムにおける現地フィールドワーク/
現地若者とのWS/ホームステイで得た情報の比較検討&整理の為の
ディスカッションと現地向けアイディエーション
- ・ご参加者様によるご参加企業様向けプレゼンテーション報告会

■ 参加費用及びお支払い条件

120万円/1名 (消費税抜き)

- ※ お支払い条件に関してはお申し込み後4月または5月にご請求、翌月末お支払いを原則としますが、分割等のご希望については御相談の上、調整を行わせて頂きます。
- ※ 振込み手数料は貴社にてご負担下さい。
- ※ お申し込み後のキャンセルはできません。

■ 参加費用に含まれない項目

- ・日本における懇親会費
- ・ご参加者様の航空券、交通費、ホテル宿泊料、ビザ取得経費
※ ホテル・航空券・ビザの手配は、各社様にてお願いします。
- ・現地におけるプログラム外 (自由行動等) での移動費
- ・現地での食費
※ 但し現地参加者との食事会の費用は含まれます。
(アルコール類含め弊社指定のコース料理の前提です。)

■ その他留意事項

- ・行程は基本的に弊社側が手配した車で移動します。
(一部公共交通機関による移動の可能性もあります)。
- ・現地自由行動時/現地ホームステイ時以外の全てのプログラムに弊社日本人スタッフが1名同行します (現地自由行動時/現地ホームステイ、自由行動時のアテンドはいたしません)。
- ・本プログラムの報告書作成を弊社に希望される場合は別途費用がかかります。
- ・弊社側にて社内記録用に撮影した写真・ビデオに関しましては、ご希望ございましたら無償にてご利用頂けます。またご参加者様は視察中及びディスカッション中、ご自由に撮影して頂く事ができますが、撮影を禁止されている場所での撮影はご遠慮ください。また、別途カメラマンによる写真&ビデオ撮影をご希望される場合は、御相談下さい。
- ・現地ワークショップや、日本帰国後の情報共有&整理時に作成するアウトプットの所有権および著作権は、本プログラムの全参加企業および弊社が共有するものとします。ただし、当該アウトプットの作成に使用する個々の画像に関しては、著作権またはその使用許諾を権利所有者より取得することはいたしませんので当該アウトプットのご利用に際してはご留意ください。
- ・本プログラムの成果物は、ご参加者様ご本人が本プログラムの中で作成されるアウトプットとなります。
- ・各回のミーティングやご参加者様によるご参加企業様向けプレゼンテーション報告会には、次回参加検討企業担当者様も同席させて頂く可能性がありますので、その旨ご了承ください (次回参加検討企業担当者様には本回の成果物資料配布はいたしません)。
- ・事前準備における現地若者最新動向情報のプレゼンテーション資料に関しては、著作権の問題上お渡しする事ができません。
- ・インド&ベトナムにおける自由行動に関しては、自己責任を前提としております。本プログラムに申し込みされるに際しては、裏面の注意事項をご一読のうえ、理解されたものとみなします。緊急事態が発生した場合は、ご参加者様とは別に現地からトリニティ株式会社 (03-5211-5150) を通じて、申込書記載の緊急連絡先へ状況をご報告いたします。

本プログラムご参加に際してのご注意

以下は、弊社主催のワークショックマラソンプログラムに安全にご参加頂くうえでのご注意点となります。

ここでは、トラブル防止に役立つ最低限の諸事項について説明しております。お申し込み頂くに際して必ずご一読いただきますようお願い致します。

■ 食べ物、飲料水について

インド・ベトナム料理は慣れていないと胃腸への負担が大きく下痢をしやすいです。また、寿司や刺身などの生ものは、一流ホテルやレストランであっても、避けてください。フルーツやサラダも同様です。果物は自分で皮をむいて早めに食べるように心がけ、野菜も加熱調理されたものを食べるようにしてください。

水道水を飲むと下痢をすることがあります。煮沸した水、もしくはミネラルウォーターを飲むようにしてください。また、氷入りの飲み物も避けるようにしてください。無料のミネラルウォーターがホテルの部屋に置いてあることも多いです。ホテル内の食事は基本的に問題ありませんが、衛生的管理の悪い屋台などでの食事は控えてください。消化を助ける為に、ビオフェルミンなどの整腸剤などを持参することもお勧めします。

■ 衛生状況について

野良犬や、カラス、鼠等多くの動物が道を徘徊しています。狂犬病等の感染症にかかっている事も充分考えられますので注意が必要です。むやみになでたり、なめられたりされないよう十分ご注意ください。

季節によっては、デング熱などの蚊が媒介する感染症にも注意が必要です。虫除けを適宜ご持参ください。

■ 交通事情について

トリニティでは細心の注意を払い、ドライバーや車両の手配を行っておりますが、現地の交通事情により、予期せぬ事故に遭遇する場合があります。

現地で事故に合い怪我を負い、高額な医療費の支払いに苦労される方は少なくありませんので、万が一に備え、海外旅行保険に加入することをお勧めします。

■ 貴重品・パスポートの紛失・盗難等について

ご旅行中の貴重品を含む荷物及び携帯品については、全てご自身で管理及び注意していただくようお願い致します。運輸機関、ホテル内等において何か紛失した場合は、全てお客様ご自身の責任となりますので、厳重に管理するよう注意してください。街中での物乞い、スリにご注意ください。子供であっても、はっきり断り、お金や、物を与えたりしないようにしてください。

■ 現地家庭でのショートステイについて

現地家庭への1泊ホームステイがプログラムに組み込まれています。それに辿り以下に十分ご注意ください。

- ・滞家庭は滞在メンバーの安全を十分考慮し、最低限日常生活に支障がない程度の英語が話せる人間がおり、且つ食事等に関しても現地の事情、環境が許す範囲で衛生面に配慮する事を可能な限り満たすよう選定しておりますが、滞在時は滞在メンバー各自の自己責任となります。
- ・今回のホームステイは現地の家庭の生の状況を肌で感じて頂く事が目的の為、滞家庭には出来る限り「あるがまま」の状況で滞在メンバーを受け入れてもらいます。よって通常の留学等のようにホストファミリーからのお客扱いのような振る舞いやホテルのように快適さが保障された環境では必ずしもありません。各家庭のルールや環境に滞在メンバー側が可能な限り合わせる行動を心がけてください。
- ・1家庭に1～2名のメンバーで滞在して頂く想定です。
- ・参加者が各家庭に滞在している間、運営側メンバーは何か問題が起こればすぐに対応に動ける体制を整えております。ただ新興国では渋滞等もありすぐに駆けつけられない場合もありますので、滞在メンバー自ら自己管理を徹底して下さい。
- ・滞在中は通訳も同行いたしませんので、滞在メンバー自身が家族と直接コミュニケーションをとって頂きます。
- ・滞家庭の情報は事前に参加者ならびに参加企業担当者様に共有いたします。

■ その他

他のご参加者様にご迷惑をおかけしないため、時間は厳守して頂くようお願いいたします。プログラムご参加中の自由行動時は、弊社側での責任は負いかねますので十分ご注意ください。

また最近では世界各国でテロ等の事件が多発しています。安全には十分に考慮し進めますが、万が一上記状況に遭遇した場合は基本的にツアーを中止し可能な限り早急に帰国する手続きをとります。

その場合、参加費に関してはご相談の上、プログラム履行部分までのご精算を基本とさせていただきます。また天変地異（台風・地震等）等の状況含めて不測の事態で現地滞りが延長される場合は、基本的には参加企業様側にて延泊料金や帰国便のチケット経費等を御負担頂きます。その他危機管理方法の詳細に関しては別途書面にて参加者に共有いたします。

連絡先

トリニティ株式会社 デザイン思考マラソン担当 兵頭/山口/中森
電話: +81-3-5211-5150

トリニティでは、渡航中の病気、事故、事件に関する責任は一切保障しかねますので、安心してご旅行いただけます為にも、海外旅行保険（*緊急移送サービスを含む）への加入をお勧め致します。